

各位

一般社団法人イノベーションハブ

## ～コロナショック後の日本のイノベーションについて～

### 第1回 イノベーションハブ シンポジウム 開催のご案内

2022年5月10日（火曜日）

日本のイノベーション政策の中枢を担っているキーマンを迎える、  
コロナ後も日本のイノベーションを促進させていくため、  
国の政策動向等をタイムリーに知り、  
関係者が意見交換をしながら次へのステップへの繋がりを得ることができる場  
イノベーションハブ シンポジウム

一般社団法人イノベーションハブ（理事長 伊丹敬之）は、2022年5月10日（火曜日）、同社団の発足を記念し、**西村康稔前経済再生担当、新型コロナウイルス感染症対策担当大臣、義本博司文部科学省事務次官**など、国のイノベーション政策の中枢を担っているキーマンを迎える、コロナ後も日本のイノベーションを促進させていくための、政策、課題等について講演をいただきます。併せて、研究シーズ・新技術の社会実装化に既に成功している起業家・経営者（ユーグレナ社長）から、経験に基づく様々な課題等についてお話し頂くとともに、大学からは、これまでのイノベーション研究の成果にもとづき、ポストコロナのイノベーションへの提言をいただきます。また、産官学の連携等にどのように取り組み、工夫、改革がなされているかなどについて、現場で積極的に取り組んでおられる大学から臨場感のあるお話をいただきます。

大学等に眠る技術や研究成果に光を当て、その技術成果を社会課題の解決に活かしながら、地域の活性化、新分野の産業育成、スタートアップ企業の育成、地域雇用の創出などに貢献しようという試みは、ここ数年、政府の力強い旗振りもありその進展がみられるところです。コロナ下でまだ厳しい状況にあっても、今後の姿を見据えつつ、このような動きを一層加速させていく必要があることから、今般、このようなシンポジウムを開催することとしました。

今回は、当社団として初めての試みですが、次回以降も継続して、「国の政策動向等をタイムリーに関係者の方々に知っていただく場」、「関係者が意見交換をしながら次へのステップへの繋がりを得ることができる場」、となるよう心がけ運営していきたいと考えています。

そして、より多くの参加者に講演内容を聴いていただけるよう、リアルと同時にライブ配信をする、ハイブリッド方式の形でシンポジウムを開催していきますので、大学関係者、企業、金融機関、メディアの方々など、幅広い関係者の参加をお待ちしています。

#### 【一般社団法人イノベーションハブについて】

当社団は、政府における大学のイノベーション政策と協調・連動しつつ、大学やその周辺の研究機関などに眠る技術や研究成果に光を当て、キラリと光るその技術・研究成果を SDGs などの社会課題の解決

に活かすべく、大学、国や自治体、政府関係機関、企業、金融機関の間をしっかりと繋ぎ（イノベーションハブ）、地域の活性化、新規産業の育成、スタートアップ企業の創出に資することを目的としている非営利の組織です。

引き続き、事業の発掘、企画、社会実装化まで一貫して、関係者と伴走しつつしっかりと支援し、その成果や収益を大学・地域に還元し、イノベーション促進に寄与していきます、日本の豊かな未来のために、皆様と協力して！（詳細は、HP 参照 → <https://innovation-hub.jp>）

理事長：伊丹敬之（国際大学学長 一橋大学商学部名誉教授）

代表理事：岡本直之（前国土交通省政策統括官、元財務省政策立案総括審議官）

住所：〒105-0001 東京都 港区虎ノ門5丁目 11-15 虎ノ門KTビル2階

### 詳細

- 名 称 イノベーションハブ シンポジウム
- 日 時 2022年5月10日(火曜日) 15:30～17:00
- 会 場 テレビ朝日本社 2階 プレゼンテーションルーム  
106-8001 東京都港区六本木6-9-1
- 参加人数 会場 20～30名  
オンライン 150名程度  
(視聴をご希望の方は下記の URL から事前にお申込みをお願いします)
- 参加方法 事前申し込み (<https://innovation-hub.jp/archives/226>)
- 参 加 費 無料
- 講 演 者 西村康稔 前経済再生担当、新型コロナウイルス感染症対策担当大臣  
義本博司 文部科学省事務次官  
井上睦子 文部科学省科学技術・学術政策局 産業連携・地域振興課長  
伊丹敬之 一般社団法人イノベーションハブ理事長 国際大学学長  
出雲充 株式会社ユーブレナ社長
- 大学における取組事例の紹介 山梨大学 他（予定）
- 主 催 一般社団法人イノベーションハブ
- 後 援 文部科学省  
経済産業省  
内 閣 府
- 事務局 株式会社 CB

#### 注意書き：

\*\*会場の都合上、入場制限をかけるため、会場参加ご希望に添えない場合はオンライン参加をご案内させていただくこともあります。

\*\*コロナ感染状況等に鑑み、急遽講演がオンライン、ビデオ等になることがあります。

## 講 演 者



西村 康稔 (にしむら やすとし)

衆議院議員(自由民主党)

1962年生まれ、兵庫県明石市出身。灘高校、東京大学法学部卒。通産省入省後、米国メリーランド大学公共政策大学院へ留学・卒業。2003年初当選。外務大臣政務官、内閣官房副長官、経済再生・新型コロナ対策・TPP・全世代型社会保障担当大臣などを歴任した。現在は、自民党選対委員長代行、コロナ対策本部長、経済成長戦略本部座長、清和政策研究会事務総長、衆議院予算委員会理事などを務める。



義本 博司 (よしもと ひろし)

文部科学省事務次官

1984年文科省入省。福岡県教育委員会義務教育課長、在フランス日本国大使館一等書記官、初等中等教育局幼児教育課長、文部科学省大臣官房総務課広報室長、厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課長、高等教育局大学振興課長、同局高等教育企画課長、文部科学省大臣官房会計課長、同審議官(初等中等教育局担当)、同審議官(高等教育局担当)などを歴任。2021年より現職を務める。



井上 瞳子 (いのうえ むつこ)  
地域振興課長

文部科学省科学技術・学術政策局産業連携・

1996年文部省入省。国立大学法人東京大学総務部企画課長(兼)総長秘書室次長、外務省在ブラジル日本国大使館一等書記官、文部科学省私学助成課長、同省幼児教室教育課長、内閣府政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付大学改革担当室参事官などを歴任。2021年より現職を務める。



伊丹 敬之 (いたみ ひろゆき)

一般社団法人イノベーションハブ理事長

国際大学学長、一橋大学商学部名誉教授 一橋大学で宮川公男、今井賢一らの指導を受けた。カーネギーメロン大学経営大学院博士課程修了、経営学博士。スタンフォード大学経営大学院客員准教授、一橋大学商学部教授、INSEAD客員教授、ザンクトガレン大学客員教授等を歴任し、日本の経営学界において、日本企業の実証研究を第一世代として行った。東芝取締役、JFEホールディングス監査役、商船三井監査役等も務めた。紫綬褒章受章。日経・経済図書文化賞等受賞。ヴロツワフ経済大学名誉博士。



出雲 充 (イズモ ミツル)

株式会社ユーグレナ 代表取締役社長

東京大学農学部卒業後、2002年東京三菱銀行入行。2005年株式会社ユーグレナを創業、代表取締役社長就任。世界初の微細藻ミドリムシ(学名:ユーグレナ)食用屋外大量培養に成功。世界経済フォーラム(ダボス会議)ヤンググローバルリーダー、第一回日本ベンチャー大賞「内閣総理大臣賞」、第五回ジャパンSDGsアワード「SDGs推進本部長(内閣総理大臣)賞」受賞。著書に『僕はミドリムシで世界を救うことになった。』(小学館新書)『サステナブルビジネス』(PHP研究所) 経団連審議員会副議長、内閣官房知的財産戦略本部員、経産省SDGs経営/ESG投資研究会委員、ビル&メリンダ・ゲイツ財団SDGs Goalkeeper

## 司会者



堂真理子（どうまりこ） テレビ朝日アナウンサー

青山学院大学文学部英米文学科卒業。2004年4月にテレビ朝日に入社。入社後9日目で、テレビ朝日系音楽番組『ミュージックステーション』でサブMCを務める。2008年に一般男性と結婚。同局の看板アナウンサーとして、情報番組、バラエティ、スポーツ番組など幅広く活躍している。

<本シンポジウムに関する問い合わせ先>

イノベーションハブ 事務局 ((株)CB内)

TEL 03-6205-8448 FAX 03-6205-8447

担当 早瀬 / 笹原

Mail innovation-hub@cb-ltd.co.jp